

令和2年6月18日
文教福祉常任委員会資料
健康長寿部健康生きがい課

令和元年度宇治市広野地域福祉センターの指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第11条に基づき、別紙のとおり報告いたします。

令和元年度 事業報告書

令和2年 5月29日

施設名	宇治市広野地域福祉センター
団体名	一般財団法人 宇治市福祉サービス公社
代表者名	理事長 塚原 理俊

(1) 業務実施状況報告(令和元年度)

【管理運営の方針と結果】

「利用者とともに、市民とともに～利用者本位のあたたかいサービスの提供」をモットーに以下の運営方針を掲げた。

運営方針

- ・ 地域に根ざした福祉活動の拠点
- ・ 地域福祉活動の交流の場
- ・ 市民のニーズに合った施設
- ・ 安全で安心な施設

結果

- ・ 居宅介護支援事業所等に配置されている専門職が、介護相談等の相談に対応している。
- ・ 昨年度に引き続き感染症対策として、入り口に自動の消毒剤、各トイレにもアルコール消毒液、液体石鹸、手拭き用ペーパーを設置。食中毒、新型コロナウイルス・インフルエンザ感染症に関する最新情報や具体的な予防方法の掲示と注意喚起を実施。
- ・ 学区福祉委員会やBタイプリハビリ等の活動・宇治市の介護予防事業のOG会の活動の場の提供。
- ・ 施設の清掃、エレベーターの点検保守、風呂の水質検査等を実施。
- ・ 地域の子ども園、小学校、中学校から生徒の福祉体験の受け入れをデイサービスにて行い、世代間交流を図った。
- ・ 宇治支援学校の生徒とともにセンターの花壇の整備、活動の場の提供等の交流を図った。
- ・ 地域住民に福祉センターを知っていただく機会の創出として、今年度もコミュニティカフェを開催し、世代間交流を目的に170名の参加者があった。

【施設の平等利用の考え方と実施した対策】

平等利用の考え方

- ・ 広野地域福祉センターは常に利用者にかかれたものとし、公の施設であることを常に念頭におき、センターの利用者に対し、公平な運営を行う。

実施した対策

- ・ 利用証の提示の徹底、浴室利用の男女入れ替え時間の遵守、ダイルーム内でテレビの音量や話し声等について他の利用者への配慮をしていただくこと等を利用者に周知し、全利用者が快適に過ごしていただけるよう配慮した。

【施設管理状況】 1. 利用拡大の取組結果

【令和元年度の取組結果】

1. 年2回開催のセンター管理運営委員会にて
 - ・ 各施設の利用数・利用回数の報告。
 - ・ 各委員に団体利用拡大（各所属団体でのセンター利用の拡大のための周知など）をお願いした。
2. 第12回コミュニティカフェの開催
本年度も地域福祉センターの知名度の向上とセンターを通して地域住民の皆様が地域福祉活動の向上を目指す事を目的に10月14日（月・祝）に開催。総勢170名の参加者があった。
本年度は子どもたちを対象にハロウィンカフェと題して広く子どもたちの参加を求めた。
3. 高齢者食堂 7月21日（日）11:30~14:00 17名の参加
介護保険サービスを利用していない高齢者の皆様の身近なお困りごとに耳を傾け、悩み相談できる場づくりを食を通して行った。
4. 地域のサロン（城南荘木曜カフェ）・大開学区福祉委員会主催会食会等へのPR
各サロンや研修会、会食会等へ定期的に職員を派遣し、レクリエーションやお話を通してセンター利用につながるよう積極的に足を運んだ。延べ5回程度
5. 世代間交流会を通して魅力あるセンターづくり
子ども園、小学生などデイサービス利用者や貸館団体と交流で事業を行い、世代間交流を通して福祉活動拠点として魅力的な居場所づくりとなった。

【平成30年度の取組結果】

1. センター管理運営委員会 年2回開催
 - ・ 各施設の利用数・利用回数の報告。
 - ・ 各委員に団体利用拡大（各所属団体でのセンター利用の拡大のための周知など）をお願いした。
2. 第11回コミュニティカフェの開催
本年度も地域福祉センターの知名度の向上とセンターを通して地域住民の皆様が地域福祉活動の向上を目指す事を目的に10月8日（月・祝）に開催。総勢224人の参加者があった。
3. 第11回広野地域福祉のつどいの開催
「地域で支えるたすけ愛活動」と題して、2月10日（日）に第11回広野地域福祉のつどいを実施し、総勢73人の参加者があった。
地域福祉活動の発表（神明地区民生児童委員協議会・さわやか会（宇治市認知症予防OG会））により現状と課題について意見交換し、その後のコミュニティカフェ（フォークソングライブ等）を開催することにより、地域福祉センターの地域福祉拠点施設としての機能、福祉教育、啓発活動の拠点としての活用についてPRした。
4. 第6回グッド！モーニングカフェひろの（介護者のつどい）
7月22日（日）10:30~12:00 9人の参加
「老いたく～遺言・相続・後見とは？」と題して、リーガルサポート京都支部の司法書士を講師に迎え、講演及びカフェタイムなどを実施し介護者のサポート、交流を図った。

5. 地域のサロン（城南荘木曜カフェ）・大開学区福祉委員会主催会食会等へのPR
各サロンや研修会、会食会など定期的に職員を派遣し、レクリエーションやお話を通してセンター利用につながるよう積極的に足を運んだ。延べ5回程度
6. 世代間交流会を通して魅力あるセンターづくり
保育園、小学生などとデイサービス利用者や貸館団体との交流事業を行い、世代間交流を通して福祉活動拠点として魅力的な居場所づくりとなった。

【平成 29 年度の取組結果】

1. センター管理運営委員会 年2回開催
 - ・各施設の利用数・利用回数の報告。
 - ・各委員に団体利用拡大（各所属団体でのセンター利用の拡大のための周知など）をお願いした。
2. コミュニティカフェの開催
本年度も地域福祉センターの知名度の向上とセンターを通して地域住民の皆様が地域福祉活動の向上を目指す事を目的に10月11日（月・祝）に開催。総勢113人の参加者があった。
3. 第10回広野地域福祉のつどい
「地域で支えるたすけ愛活動」と題して、2月11日（日）に第10回広野地域福祉のつどいを実施し、総勢113人の参加者があった。地域福祉活動の発表（城南荘木曜カフェ、はつらつ金曜日）により現状と課題について意見交換し、その後のコミュニティカフェ（フォークソングライブ等）を開催することにより、地域福祉センターの地域福祉拠点施設としての機能、福祉教育、啓発活動の拠点としての活用についてPRした。
4. グッド！モーニングカフェひろの（介護者のつどい）11月5日（日）10：00～12：00 15人の参加
「訪問看護サービスとは？生きる意欲をともに見つける」と題して、作業療法士による講義、センター事業の報告、カフェタイムなどを実施し介護者のサポート、交流を図った。
5. 城南荘木曜カフェ・大開学区福祉委員会主催会食会等への出張PR
各サロンや研修会、会食会など定期的に職員を派遣し、レクリエーションやお話を通してセンター利用につながるよう積極的に足を運んだ。延べ10回程度
6. 世代間交流会を通して魅力あるセンターづくり
保育園、小学生などとデイサービス利用者や貸館団体との交流事業を行い、世代間交流を通して福祉活動拠点として魅力的な居場所づくりとなった。

【平成 28 年度の取組結果】

1. センター管理運営委員会 年2回開催
 - ・各施設の利用数・利用回数の報告。
 - ・各委員に団体利用拡大（各所属団体でのセンター利用の拡大のための周知など）をお願いした。
2. コミュニティカフェの開催
本年度も地域福祉センターの知名度の向上とセンターを通して地域住民の皆様が地域福祉活動の向上を目指す事を目的に10月10日（月・祝）に開催。総勢約155人の参加者があった。
3. 第9回広野地域福祉のつどい
「知って得する正しい薬の話」～そうだ薬剤師さんに聞いてみよう～と題して、2月26日（日）に第9回広野地域福祉のつどいを実施し、総勢120人の参加者があった。
テーマに沿った講演（城南薬剤師会 金山美沙薬剤師）、コミュニティカフェ（フォークソングライブ等）を開催することにより、地域福祉センターの地域福祉拠点施設としての機能、福祉教育、啓発活動の拠点としての活用についてPRした。
4. グッド！モーニングカフェひろの（介護者のつどい）6月26日（日）10：00～11：30 9人の参加
「アロマセラピーのお話～ハンドマッサージを覚えて癒しの効果を体験しましょう～」と題して、看護師による講義、様々なアロマを使用するハンドマッサージ体験、カフェタイムなどを実施し介護者のサポート、交流を図った。

【平成 27 年度の取組結果】

1. センター管理運営委員会 年 2 回開催

- ・各施設の利用数・利用回数の報告。
- ・各委員に団体利用拡大（各所属団体でのセンター利用の拡大のための周知など）をお願いした。

2. 宇治市パワーリハビリ事業、一般パワーリハビリ教室、足しっかり体操教室、足腰改善体操教室。
平成 27 年度 利用者総数 8,062 人。

3. コミュニティカフェの開催

本年度も地域福祉センターの知名度の向上とセンターを通して地域住民の皆様が地域福祉活動の向上を目指す事を目的に 10 月 12 日（祝・月）に開催。総勢約 150 人の参加者があった。

4. 第 8 回広野地域福祉のつどい

「いつまでも自分の足で歩き続けていくために」～ロコモを予防して健康寿命を延ばそう！～と題して、2 月 21 日（日）に第 8 回広野地域福祉のつどいを実施し、総勢 103 人の参加者があった。

テーマに沿った講演（宇治市福祉サービス公社 介護予防サポートセンター 理学療法士 川村久美子） 質疑応答、コミュニティカフェ（青春歌声広場等）を開催することにより、地域福祉センターの地域福祉拠点施設としての機能、福祉教育、啓発活動の拠点としての活用について PR した。

5. グッド！モーニングカフェひろの（介護者のつどい）

6 月 21 日（日） 10 時 00 分～11 時 30 分 13 人の参加

食から始まる健康生活 ～おいしく食べて元気に過ごそう！～と題して、管理栄養士による栄養、食事形態、嚥下、熱中症の講義、様々な食事形態の試食などを実施し介護者のサポート、交流を図った。デイルーム・浴室の利用者が増加、各団体の介護者教育室・会議室の利用回数は大きく変動はなかったが、センター全体の総利用者数は増加した。

【施設管理状況】 2 . 広報実施結果

- ・ センター受付窓口や書棚にてセンターパンフレットや市の委託事業のリーフレットを設置。掲示板等においても案内することで、利用促進に努めた。
- ・ 既存の利用者に対して、隣人や知人等にセンター利用希望者があれば案内していただくよう、協力をお願いした。
- ・ コミュニティカフェ、地域福祉のつどいにて幅広い世代に広報を行い、利用促進を図った。
- ・ 館内の掲示板にて、利用団体の活動の様子や作品の展示を行いボランティア活動の啓発を行った。
- ・ ホームページ（ブログ）にて、地域福祉センターに関する各種取り組み、お知らせ等の情報発信し、利用促進に努めた。

【施設管理状況】 3 . 職員配置状況

センター長 1 名（宇治市福祉サービス公社広野事業所所長兼任）

受付及び管理職員 4 名（広野デイサービスセンター長、デイサービスチーフ、事業所事務、管理人）及び営繕

浴室清掃 2 名（広野デイサービスセンター補助員兼任）

【施設管理状況】 4 . 地域、関係機関、団体、登録団体等との連携結果

-連携の考え方

- ・ 宇治市や住民団体等との共同イベント等を積極的に進めるとともに、それらが開催するイベント等へ積極的に支援協力をする。

連携の結果

1. 大開学区福祉委員会、幹事会・総会・会食会等の会場としての参加及び会場提供。また学区福祉委

<p>員主催のふれあいサロン撫子の会の会場提供（月1回） また大開小学校3年生の職場見学を2日間実施。世代間交流、地域福祉学習の一環として学校、大開学区福祉委員会と事前に打ち合わせを行い、大開学区福祉委員会の方にも応援、協力をいただいた。</p> <p>2. ホット大開 Bタイプリハビリ会場としてセンターを開放。年3回（共同消防訓練と保育園との交流会・大開小学校3年生との交流会）を実施。</p> <p>3. 宇治中学校、広野中学校等の体験実習を通して、センター機能や各施設の利用状況などの学習支援を行った。</p> <p>4. 教職課程 介護体験等実習について、地域在住の大学生の受け入れを行った。</p> <p>5. 館内の掲示板に、センターで活動している団体の作品や活動の様子その他、京都府立宇治支援学校のカフェのパンフレット等を展示。</p> <p>6. 京都府立宇治支援学校の作業学習の受け入れを行い、センターのプランターの花の植え替え・メンテナンスを実施していただいた。（年3回 長期休暇期間を除く）</p> <p>7. 高齢者食堂 令和元年7月21日（日）11：30～14：00 17名の参加 介護保険サービスを利用していない高齢者の皆様の身近なお困りごとに耳を傾け、悩み相談できる場づくりを食を通して行った。 城南荘木曜カフェでの広報、大開学区福祉委員会の会食会の広報、神明民児協による紹介</p> <p>8. 「コミュニティカフェ」の開催 ～ハロウィンパーティー～ 開催日時 令和元年10月14日（月・祝） 参加人数 170人 大開小学校金管バンド演奏、軽食等コーナー、仮装コンテスト 大開学区福祉委員会の協力</p> <p>9. 地域のサロン（城南荘木曜カフェ）・大開学区福祉委員会主催会食会等への出張PR 各サロン、会食会など定期的に職員を派遣し、レクリエーションやお話を通してセンター利用につながるよう積極的に足を運んだ。延べ5回程度</p> <p>10. 各種総会及び幹事会の出席 大開学区福祉委員会 総会 4月26日（金）19：30～20：30 大開学区福祉委員会会食会 6月29日（土）11：00～14：00 大開学区福祉委員会会食会 10月5日（土）11：00～14：00 大開学区福祉委員会会食会 1月18日（土）11：00～14：00 大開学区福祉委員会 幹事会 9月13日（金）19：30～20：30 計5回</p> <p>11. 管理運営委員会の開催 第1回 6月3日（月）14：00～14：40 参加5名（2名欠席） 第2回 12月23日（月）15：30～16：20 参加7名（欠席なし）</p>

【施設管理状況】5. トラブル対応、防犯、防災対策状況

<p>1. 年2回の消防訓練（6月19日）・非常災害訓練（11月27日）の実施。</p> <p>2. 施設管理人による定期防犯・防火巡回の実施・備品管理。</p> <p>3. 警備会社による通報点検。</p>

【施設管理状況】6. 利用者要望の把握状況及び実施策

利用者の皆様に来所、退所時に挨拶を行い、その都度何か問題があれば、気楽に話をしていただけるような雰囲気づくりを行った。利用者からのご意見については、必要に応じて迅速な対応に努めた。

【サービス向上取組内容】

【令和元年度の取組結果】

- ・ 利用者が気持ちよく利用していただく為に、職員一同明るい挨拶を積極的に行った。
- ・ マッサージ器、ヘルストロンのカバー等、定期的な清掃による衛生管理を実施し、気持ちよく使用していただけるようにした。

- ・ 玄関に自動手指消毒剤を利用者の使いやすい高さに設置し、トイレにも液体石鹸、アルペット消毒液、ペーパータオルを置くなど感染症対策を講じた。また、感染症に関する最新情報の掲示や感染予防方法の掲示を行った。また、感染症キットを設置し、嘔吐される方への早期対応できるように訓練を実施した。
- ・ コミュニティカフェを開催し、福祉センターの活動状況を地域にPRした。
- ・ 作品展示用に設置した掲示板を活用して、利用団体の作品や活動の様子、デイサービス利用者の作品、宇治支援学校の生徒が運営するカフェのパンフレット、新聞記事を展示し、情報発信や交流の機会を設けた。
- ・ デイルーム改修（12/3～2/24）の期間にこれまでの備品を整理する。また、机や椅子の備品をチェックし、ねじの緩みなど全件点検した。

【平成 30 年度の取組結果】

- ・ 利用者が気持ちよく利用していただく為に、職員一同明るい挨拶を積極的に行った。
- ・ マッサージ器、ヘルストロンのカバー等、定期的な清掃による衛生管理を実施し、気持ちよく使用していただけるようにした。
- ・ 玄関に自動手指消毒剤を利用者の使いやすい高さに設置し、トイレにも液体石鹸、アルペット消毒液、ペーパータオルを置くなど感染症対策を講じた。また、感染症に関する最新情報の掲示や感染予防方法の掲示を行った。
- ・ コミュニティカフェを開催し、福祉センターの活動状況を地域にPRした。
- ・ 作品展示用に設置した掲示板を活用して、利用団体の作品や活動の様子、デイサービス利用者の作品、宇治支援学校の生徒が運営するカフェのパンフレット、新聞記事を展示し、情報発信や交流の機会を設けた。

【平成 29 年度の取組結果】

- ・ 利用者が気持ちよく利用していただく為に、職員一同明るい挨拶を積極的に行った。
- ・ マッサージ器、ヘルストロンのカバー等、定期的な清掃による衛生管理を実施し、気持ちよく使用していただけるようにした。
- ・ 玄関に自動手指消毒剤を利用者の使いやすい高さに設置し、トイレにも液体石鹸、アルペット消毒液、ペーパータオルを置くなど感染症対策を講じた。また、感染症に関する最新情報の掲示や感染予防方法の掲示を行った。
- ・ コミュニティカフェを開催し、福祉センターの活動状況を地域にPRした。
- ・ 作品展示用に設置した掲示板を活用して、利用団体の作品や活動の様子、デイサービス利用者の作品、宇治支援学校の生徒が運営するカフェのパンフレット、新聞記事を展示し、情報発信や交流の機会を設けた。

【平成 28 年度の取組結果】

- ・ 利用者が気持ちよく利用していただく為に、職員一同明るい挨拶を積極的に行った。
- ・ マッサージ器、ヘルストロンのカバー等、定期的な清掃による衛生管理を実施し、気持ちよく使用していただけるようにした。
- ・ 玄関に自動手指消毒剤を利用者の使いやすい高さに設置し、トイレにも液体石鹸、アルペット消毒液、ペーパータオルを置くなど感染症対策を講じた。また、感染症に関する最新情報の掲示や感染予防方法の掲示を行った。
- ・ コミュニティカフェを開催し、福祉センターの活動状況を地域にPRした。
- ・ 夏季はデイルーム窓際屋外によしずを設置し、室温上昇を抑制した。
- ・ 作品展示用に設置した掲示板を活用して、利用団体の作品や活動の様子、デイサービス利用者の作品、宇治支援学校の生徒が運営するカフェのパンフレット、新聞記事を展示し、情報発信や交流の機会を設けた。

【平成 27 年度の取組結果】

- ・ 利用者が気持ちよく利用していただく為に、職員一同明るい挨拶を積極的に行った。
- ・ マッサージ器、ヘルストロンのカバー等、定期的な清掃による衛生管理を実施し、気持ちよく使用していただけるようにした。
- ・ 玄関に自動手指消毒剤を利用者の使いやすい高さに設置し、トイレにも液体石鹸、アルペット消毒液、ペーパータオルを置くなど感染症対策を講じた。また、感染症に関する最新情報の掲示や感染予防方法の掲示を行った。
- ・ コミュニティカフェを開催し、福祉センターの活動状況を地域に PR した。
- ・ 夏季はデイルーム窓際屋外によしずを設置し、室温上昇を抑制した。
- ・ 作品展示用に設置した掲示板を活用して、利用団体の作品や活動の様子、大開小学校児童やデイサービス利用者の作品、宇治支援学校の生徒が運営するカフェのパンフレット、新聞記事を展示し、情報発信や交流の機会を設けた。

【管理経費縮減の具体策と結果】

【令和元年度の取組結果】

- ・ 浴室、トイレ利用の市民の方には資源を大事に使っていただくため、節水運動へのご協力を呼びかけた。年間を通した節水キャンペーンの継続実施（平成 30 年度 12 月に下水道工事済）
- ・ デマンド監視装置により最大消費電力の管理の他、夜間不要電灯の消灯、エアコンの必要部所のみでの起動、夏季エアコン始動時の一斉入力回避（部屋ごとに始動）、デイルーム利用者不在時のエアコン停止、消灯、窓際によしずを設置し室温上昇を抑制するなどにより電気料金の節約に努めた。
- ・ 電気/水道/ガス使用量の日常管理
電気/水道/ガス利用状況を日々確認し、データ入力管理を行い漏水等の未然防止対策として日常管理を徹底し節減に努めたが、平成 30 年 12 月より下水道に切り替えたため水道料が増加し、光熱水費合計は前年度より約 374 千円増えた。

平成 27 年度から令和元年度の経費（光熱水費）実績

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	前年度比 (%)
電気	千円	1,027	911	970	894	899	100.6
ガス	千円	673	514	528	547	528	96.5
水道	千円	424	512	480	575	963	167.5
合計	千円	2,124	1,937	1,978	2,016	2,390	118.6

【平成 30 年度の取組結果】

- ・ 浴室、トイレ利用の市民の方には資源を大事に使っていただくため、節水運動へのご協力を呼びかけた。年間を通した節水キャンペーンの継続実施
- ・ デマンド監視装置により最大消費電力の管理の他、夜間不要電灯の消灯、エアコンの必要部所のみでの起動、夏季エアコン始動時の一斉入力回避（部屋ごとに始動）、デイルーム利用者不在時のエアコン停止、消灯、窓際によしずを設置し室温上昇を抑制するなどにより電気料金の節約に努めた。
- ・ 電気/水道/ガス使用量の日常管理
電気/水道/ガス利用状況を日々確認し、データ入力管理を行い漏水等の未然防止対策として日常管理を徹底し節減に努めたが、前年度より約 38 千円増えた。

【平成 29 年度の取組結果】

- ・ 浴室、トイレ利用の市民の方には資源を大事に使っていただくため、節水運動へのご協力を呼びかけた。年間を通した節水キャンペーンの継続実施

- ・ デマンド監視装置により最大消費電力の管理の他、夜間不要電灯の消灯、エアコンの必要部所のみでの起動、夏季エアコン始動時の一斉入力回避（部屋ごとに始動）、デイルーム利用者不在時のエアコン停止、消灯、窓際によしずを設置し室温上昇を抑制するなどにより電気料金の節約に努めた。
- ・ 電気/水道/ガス使用量の日常管理
電気/水道/ガス利用状況を日々確認し、データ入力管理を行い漏水等の未然防止対策として日常管理を徹底し節減に努めたが、前年度より約 41 千円増えた。

【平成 28 年度の実績結果】

- ・ 浴室、トイレ利用の市民の方には資源を大事に使っていただくため、節水運動へのご協力を呼びかけた。年間を通じた節水キャンペーンの継続実施
- ・ デマンド監視装置により最大消費電力の管理の他、夜間不要電灯の消灯、エアコンの必要部所のみでの起動、夏季エアコン始動時の一斉入力回避（部屋ごとに始動）、デイルーム利用者不在時のエアコン停止、消灯、窓際によしずを設置し室温上昇を抑制するなどにより電気料金の節約に努めた。
- ・ 電気/水道/ガス使用量の日常管理
電気/水道/ガス利用状況を日々確認し、データ入力管理を行い漏水等の未然防止対策として日常管理を徹底し節減に努め、前年度より 187 千円節減できた。

【平成 27 年度の実績結果】

- ・ 浴室、トイレ利用の市民の方には資源を大事に使っていただくため、節水運動へのご協力を呼びかけた。年間を通じた節水キャンペーンを継続実施した。
- ・ 夜間不要電灯の消灯、エアコンの必要部所のみでの起動、夏季エアコン始動時の一斉入力回避（部屋ごとに始動）、デイルーム利用者不在時のエアコン停止、消灯、窓際によしずを設置し室温上昇を抑制するなどにより電気料金の節約に努めた。
- ・ 電気/水道/ガス使用量の日常管理
電気/水道/ガス利用状況を日々確認し、データ入力管理を行い漏水等の未然防止対策として日常管理を徹底し節減に努め、前年度実績を下回る結果となった。但し、ガス代はボイラー設備故障による浴室解放の休止期間が 1/25 ~ 2/2 の土日除く計 7 日間あったことと、暖冬による床暖房の使用機会減少の影響がある。

【管理能力】職員研修計画と実施状況

職員研修計画

- ・ 施設管理人に対する接遇研修の実施。
- ・ 当センターに勤務する従業員の施設管理に関する研修。

実施状況

- ・ 施設管理人と適宜ヒアリングを行い、必要に応じてマニュアルの再確認、電話対応等の管理人業務指導を行った。
- ・ 年間研修計画に基づき、感染症予防、接遇、個人情報保護、人権等に関する研修を実施した。
- ・ 通報、避難誘導、初期消火に関する消防訓練を実施した。
- ・ センター内利用者の救急蘇生の対応能力を向上させるため、A E D 講習に係る応急手当普及講習会を実施した。

【個人情報保護措置と実施状況】

- ・ 当法人が定める「個人情報保護規程」に基づき、基本方針及び利用目的を掲げ、個人情報の漏洩、滅失、毀損の防止、その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じた。
令和元年度は個人情報の開示請求はなかった。

【情報公開対応と実施状況】

- ・文書の開示等情報公開については当法人が定める「情報公開規程」に基づき取り扱った。
- ・令和元年度は、実施事例はなかった。

【その他】特記すべき事項

- ・特になし

(2) 施設利用状況報告(令和元年度)

【施設利用状況】1. 入館者数

平成 27 年度から令和元年度の入館者数(人)

区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	前年度比 (%)
デイルーム利用者数	3,582	3,409	4,599	3,870	2,678	69.2
浴室利用者数	2,503	2,090	1,653	1,483	1,434	96.7
介護者教室・会議室	3,966	4,188	3,161	13,379	12,941	96.7
料理教室	1,401	1,495	680	866	744	85.9
合計	11,452	11,182	10,093	19,598	17,797	90.8

12/3～2/24の間、1階トイレ、デイルームの改修工事を実施、デイルームは2/24まで休止、浴室、貸館は休止せず。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3/3～3/31 浴室・デイルーム休止 団体利用自粛

【施設利用状況】2. 貸館状況

平成 27 年度から令和元年度の貸館状況

区分	件数 人数	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	前年度比 (%)
介護者教育室 ・会議室	件数	138	153	151	523	480	91.8
	人数	3,966	4,188	3,161	13,379	12,941	96.7
料理教室	件数	61	54	32	43	39	90.7
	人数	1,401	1,495	680	866	744	85.9
合計	件数	199	207	183	566	519	91.7
	人数	5,367	5,683	3,841	14,245	13,685	96.1

(3) 管理経費収支状況報告(令和元年度)

(単位:千円)

施設名		宇治市広野地域福祉センター			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの委託料	6,341	6,364	指定管理料 6,364	
	その他				
収入合計(A)		6,341	6,364		
支出	人件費	2,178	2,187	賃金・法定福利費等	
	事務費	84	101	消耗品費 14 通信運搬費等 78 印刷製本費 9	
	管理費	4,079	4,076	光熱水費 2,390 委託料 1,499 修繕料 165 賃借料 22	
	事業費	0	0		
	その他	0	0		
支出合計(B)		6,341	6,364		
収支(A) - (B)		0	0		

1年間の収支を記入すること(年度途中開館の場合は開館から年度末まで)
内容は詳細に記入し別途資料がある場合は添付すること

(4) - 1 事業実施状況報告(令和元年度)

事業 = 公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施時期・回数

